

平成 20 年度第 1 回附属図書館（本館）利用学生モニター会議について

平成 20 年 6 月 12 日（木）に附属図書館（本館）利用学生モニター会議が行われました。平成 20 年度最初の集まりだったので、図書館長を囲んでの図書館にまつわるいろいろな話題についてと最近の静岡大学附属図書館の動きについて図書館からの報告が主でしたが、その中でも利用学生モニターから意見や要望を出していただきました。ありがとうございました。

それら意見や要望につきまして、以下のように回答いたします。

図書館から利用学生モニターへの質問

・図書館からの情報がなかなか学生へ届かないのですが、どのような方法が一番届きやすいですか。

（モニターからの回答）各学部の掲示板は学生が必ず見るので一番よいのではないかと。また、ビラを配るという方法もある。

利用学生モニターからの質問と図書館の回答

・（院生と書庫内利用申請を提出した学部 3 年生以上の学生は自由に書庫内利用できるが、利用学生モニターになっていただいた学生は、全員書庫内利用可能としている。その書庫内利用をした学生からの意見）書庫内で迷ってしまったことがある。

図書資料の増加により、置ける場所すべてに書架を設置したため、書庫内は迷路のようになっているというのが現状です。避難路を表示した掲示板など作成し貼っていますが、まだ判りづらい状態だと思います。現在業者に見積もってもらって、床や書架に判りやすい避難路などを表示する計画を立てています。

・研究室貸出中の図書を利用したいが、所属する学部でなかったため利用をあきらめた。研究室貸出中の図書を利用するにはどうすればいいのか。

研究室貸出中の図書は返却期限のない貸出ですので、教員の利用マニュアルにも「他の利用者からの請求で、図書館から閲覧や貸出の照会をすることがあります。その場合には、できるだけ貸出くださるようお願いいたします。」と記入して研究室貸出をしている教員に呼びかけています。現在使用中でどうしても貸出できないという場合もありますが、まずは図書館カウンタに資料請求票を出してください。図書館から研究室貸出の責任者へ連絡をして、利用できるように図ります。

また、県立中央図書館にある図書は静大図書館を通して借り出すことも可能ですので、「おうだんくん」を使って県立中央図書館に希望図書があるかどうかの確認をお願い

いします。

- ・閲覧機で持ち込みのパソコンを使いたい。

3F は階段を下りたところの閲覧機の上、4F は窓側の閲覧機がある場所の柱に、5F は教育学部側の閲覧機（4 列まで）に情報コンセントが設置されていて、パソコンと LAN コードを接続することによりパソコンのインターネット利用が可能です。インターネットを利用しない場合もできるだけ情報コンセントのある機でパソコン操作を行ってください。LAN コードはカウンタで貸出をしております。

- ・自分で購入した専門書など図書館に寄付することは可能か。

書庫が満杯状態なので同じ図書（重複図書）を複数置く余裕がないが、図書館にない図書であって大学図書館で所蔵すべきと思われる図書でしたら、喜んで寄付を受けます。

- ・重複図書など不用図書の処分の時にその図書を学生などの希望者に無償であげることはいかないか。また、島根大学などでは重複図書について百円セールをやっていたが、そのようなセールでもよい。

図書館では書庫が満杯状態であり、退職される先生方からの返却も増えることが予想されるので、書庫に重複図書が 2 冊以上あるものについては、1 階の集密書架に移動し、集密書架でも 2 冊以上の場合は、リスト化し不用図書として廃棄作業を行う予定です。その作業を行う際には不用となった図書の処理についてできるだけ有効利用可能な方法を考えてゆきます。

- ・図書館での学生アルバイトについてはどんなものがありますか。

毎年定期的に募集しているのは、3 月の終わり頃行う開架図書点検作業のアルバイトです。開架図書には表紙にバーコードが貼られています。それをバーコードリーダーで読取る作業です。1 月下旬から図書館内にポスターを貼るなどして募集します。

浜松分館では、その他に夜間の閲覧（カウンタ）業務も学生のアルバイトで行っています。

*平成 21 年度は、新入生向けの図書館利用セミナー補助のアルバイトを募集します。新入生の OPAC 検索を助けたり、書庫を案内するという仕事です。また、セミナーで手薄になったカウンタ業務の補助もお願いする予定です。